

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
および家計消費の月別動向について(月報)**

平成20年1月版

平成20年3月

水産庁漁政部企画課

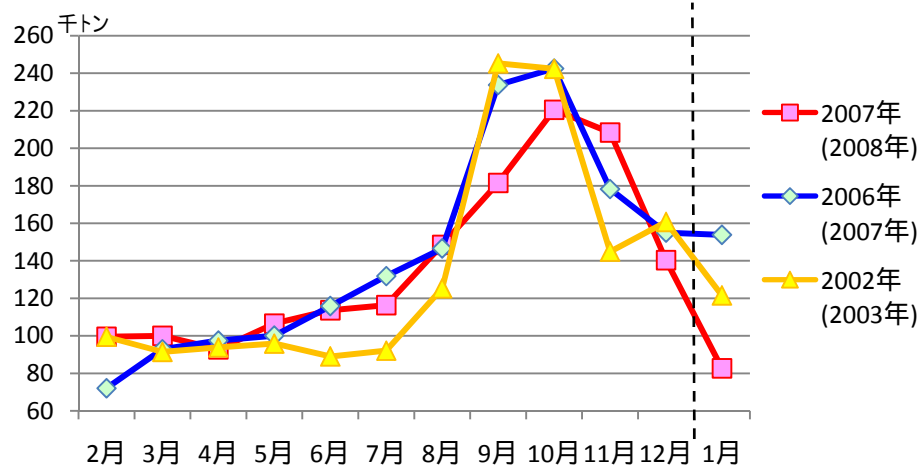
1 産地水産物水揚量の動向

2008年1月の水産物の産地水揚量は前年同月と比べ46.3%減少し、平均産地卸売価格は58.4%増加。

前年同月と比べてくろまぐろ・みなみまぐろ(冷凍)、びんなが(生鮮・冷凍)、さんま等の水揚量が大きく増加(累月ベース)し、まいわし、かたくちいわし、さば類等は減少。

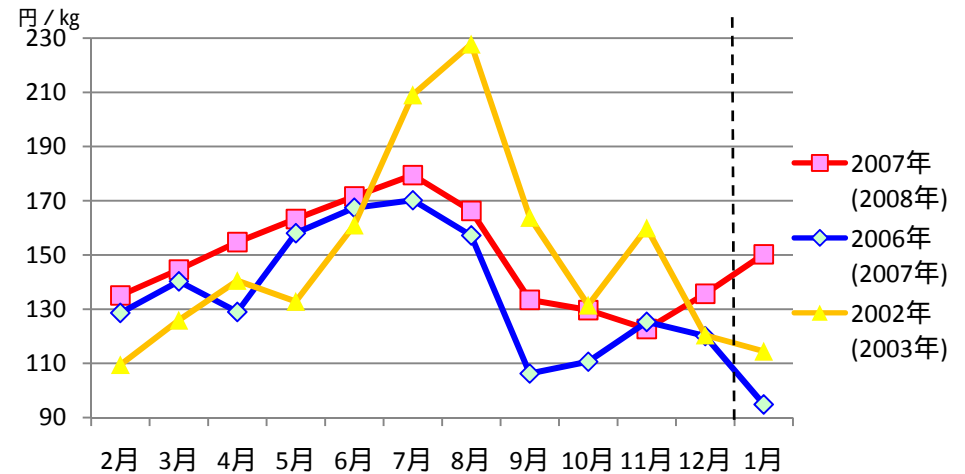
前年同月と比べてまいわし、さば類、まぐろ(冷凍)の卸売価格が上昇し、かつお(生鮮)、さんま、まぐろ(生鮮)等は価格が低下。

産地水産物水揚量の推移



		H19計	H20.1
水揚量	数量(千トン)	1,682	83
	前年同月比	0.9%	-46.3%
	2003年同月比	7.5%	-32.0%

産地水産物平均卸売価格の推移



		H19平均	H20.1
平均産地卸売価格	価格(円/kg)	144	150
	前年同月比	7.3%	58.4%
	2003年同月比	-5.2%	31.3%

出典：農林水産省「水産物流通統計年報」(2002年)、「産地水産物流通統計」

- 注：1) 本統計は、全国2263漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成18年度の年間水揚量(1668千トン)の総生産量(5669千トン、概算値)に対する割合は約29%である。
- 3) 2002年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、2002年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品 目	累積の上場水揚量 (t)			平均卸売価格 (1kg当たり円)		
	平成20年 1月	19年 1月	対前年 同期比	平成20年 1月	19年 1月	対前年 同期比
			%			%
まぐろ(生鮮) 1	11	4	275	4 379	5 236	84
" (冷凍) 2	44	37	119	2 617	1 363	192
びんなが(生鮮) 3	2 679	2 912	92	326	321	102
" (冷凍) 4	160	53	302	308	275	112
めばち(生鮮) 5	622	618	101	1 218	1 212	100
" (冷凍) 6	1 489	1 156	129	805	792	102
きはだ(生鮮) 7	226	117	193	985	958	103
" (冷凍) 8	791	345	229	512	452	113
かつお(生鮮) 9	380	328	116	254	337	75
" (冷凍) 10	17 805	18 113	98	185	141	131
まいわし 11	90	9 688	1	359	61	589
うるめいわし 12	973	793	123	68	62	110
かたくちいわし 13	4 751	12 858	37	54	29	186
ま あ じ 14	5 949	6 524	91	170	142	120
む ろ あ じ 15	5 095	1 740	293	90	112	80
さ ば 類 16	23 807	53 961	44	97	63	154
さ ん ま 17	217	10	2 170	61	80	76
ほ っ け 18	13 243	11 552	115	31	37	84
するめいか(生鮮) 19	2 471	2 250	110	169	201	84
" (冷凍、遠洋) 20	-	388	-	-	180	-
" (冷凍、近海) 21	1 867	2 612	71	207	252	82

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

注:1)平成19年1月分調査より調査区の見直しを行った。なお、「対前年同期比」は、平成18年より引き
続き調査を行っている調査区のみで算出している。

2)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

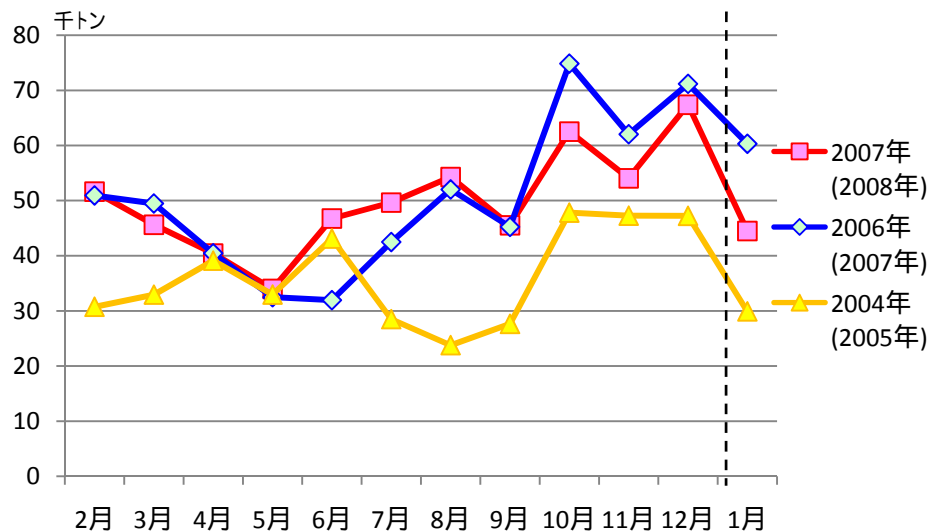
3 - 水産物輸出量・金額の動向

2008年1月の水産物の輸出量は前年同月と比べ26.2%減少し、輸出金額(真珠を除く)は前年同月比で6.5%減少した。

品目別輸出量は前年同月に比べさんま、かつお類、いかで大きく増加し、さば、さけ・ます等で減少。

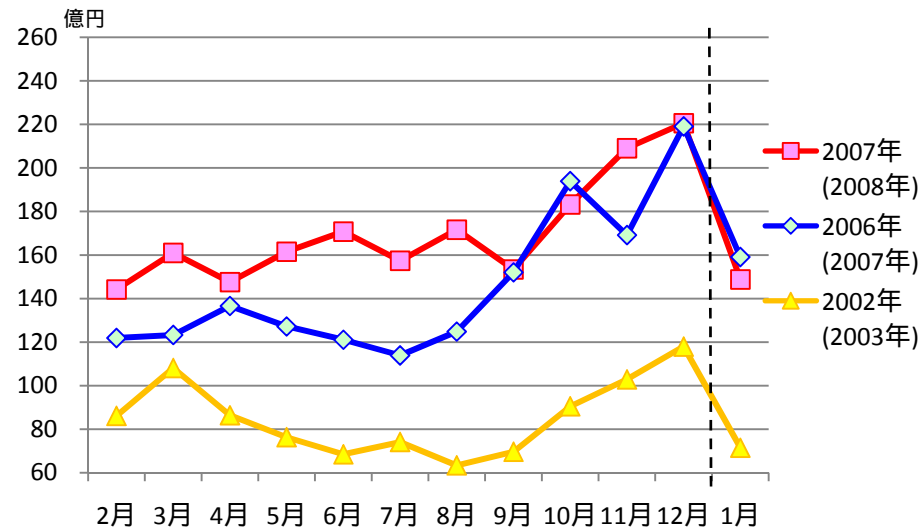
品目別輸出金額は前年同月に比べかつお類、さんま、ホタテ貝等が大きく増加し、さば、すけとうだら、さけ・ます等が減少。

水産物輸出量の推移



		H19計	H20.1
輸出	数量(千トン)	612.2	44.5
	前年同月比	1.4%	-26.2%
	2005年同月比	44.3%	48.8%

水産物輸出金額の推移



		H19計	H20.1
輸出	金額(億円)	2,039	149
	前年同月比	19.7%	-6.5%
	2003年同月比	97.4%	108.1%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

2) 輸出量については、2003年以前のデータがないため2004(2005年)との比較である。

3) については、2004年合計値との比較である。

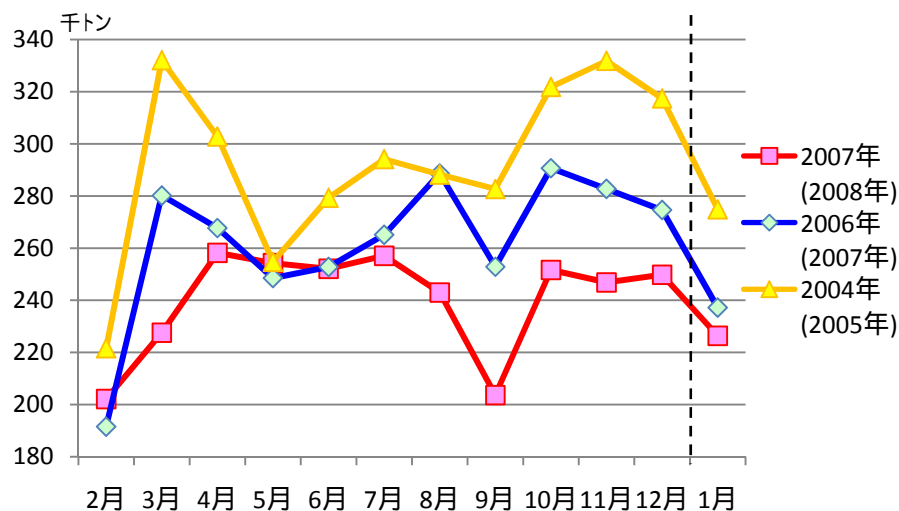
3 - 水産物輸入量・金額の動向

2008年1月の水産物の輸入数量は前年同月と比べ4.6%減少し、輸入金額(真珠を除く)は前年同月比で3.4%減少した。

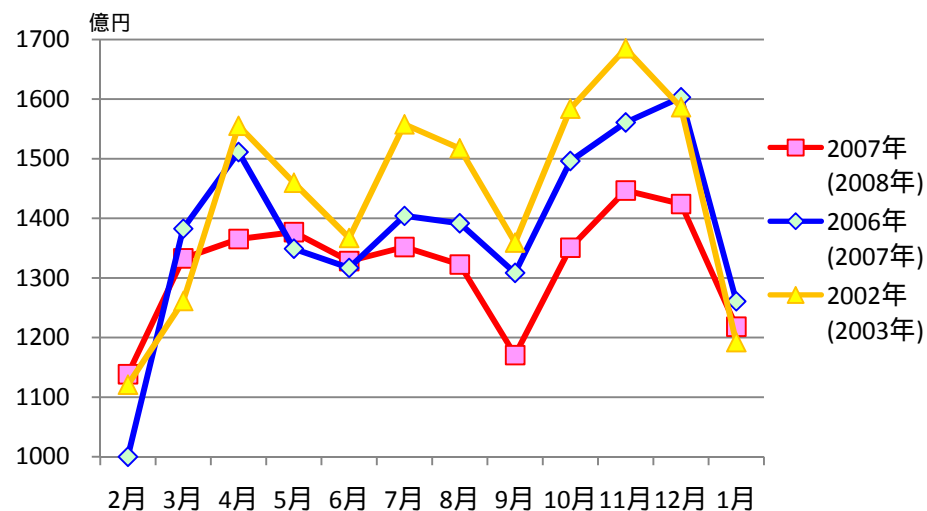
品目別輸入数量は前年同月に比べさば、たこ、いか(生鮮・冷蔵・冷凍)で増加し、ひらめ・かれい、かに等で減少。

品目別輸入金額は前年同月に比べうなぎ稚魚、さば、たこ等で大きく増加し、うなぎ調製品、さけ・ます等が減少。

水産物輸入金額の推移(単月ベース)



水産物輸入累計金額の推移



		H19計	H20.1
輸入	数量(千トン)	2,884	226
	前年同月比	-8.4%	-4.6%
	2005年同月比	-17.3%	-17.7%

		H19計	H20.1
輸入	金額(億円)	15,870	1,218
	前年同月比	-4.3%	-3.4%
	2003年同月比	-8.3%	2.2%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。
 2) 輸出量については、2003年以前のデータがないため2004(2005年)との比較である。
 3) については、2004年合計値との比較である。

(参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成19年 1月	平成20年 1月	前年 同月比	品目	平成19年 1月	平成20年 1月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	20.25	7.76	-61.7%	さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	33.55	31.92	-4.8%
さんま (冷凍)	1.96	6.98	256%	まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	19.33	17.70	-8.4%
すけとうだら (生鮮・冷凍・冷蔵)	14.43	6.90	-52.2%	さば (生鮮・冷凍・冷蔵)	7.40	17.15	131.7%
かつお類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	1.39	4.80	245%	えび (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	15.88	16.55	4.3%
さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	4.99	3.43	-31.2%	いか (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	6.41	7.71	20.2%
いか (生鮮・冷凍・冷蔵)	0.40	3.38	751%	えび (調製品)	5.54	5.48	-1.2%
まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	2.08	1.67	-19.6%	たこ (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	2.43	4.12	69.8%
いか (生鮮・冷凍・冷蔵)	0.72	0.71	-2.1%	かに (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	4.28	3.62	-15.5%
練り製品 (魚肉ソーセージ等)	0.29	0.60	107%	いか (調製品)	3.87	3.59	-7.2%
たら (生鮮・冷凍・冷蔵。 すけとうだらを除く。)	0.77	0.59	-23.8%	ひらめ・かれい (生鮮・冷凍・冷蔵)	4.18	3.59	-14.3%

資料：農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

注：1) 本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

2) 「まぐろ・かじき類」は、輸出については輸出入情報の「まぐろ類」と、財務省貿易統計の「かじき」を合算して算出し、輸入については輸出入情報の「まぐろ類」と「かじき」を合算して算出。

(参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成19年 1月	平成20年 1月	前年 同月比	品目	平成19年 1月	平成20年 1月	前年 同月比
真珠	18.95	22.88	20.7%	えび (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	168.4	157.7	-6.3%
貝柱 (調製品)	13.62	17.12	25.7%	まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	161.7	156.4	-3.3%
すけとうだら (生鮮・冷蔵・冷凍)	22.20	11.54	-48.0%	さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	192.1	149.8	-22.0%
ホタテ貝 (生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	3.84	8.72	126.9%	えび(調製品)	51.51	46.48	-9.8%
乾燥なまこ (調製品)	10.56	8.28	-21.6%	さば (生鮮・冷凍・冷蔵)	20.09	42.65	112.3%
さば (冷蔵・冷凍)	16.01	7.83	-51.1%	うなぎ (稚魚)	0.22	40.64	18081%
さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	12.52	6.93	-44.6%	うなぎ (調製品)	53.13	34.45	-35.2%
かつお類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	1.54	6.75	339.0%	いか (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	37.50	33.22	-11.4%
まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	6.58	6.11	-7.1%	かに (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	33.52	32.98	-1.6%
さんま (冷凍)	1.67	5.56	231.9%	たこ (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	14.98	31.75	111.9%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

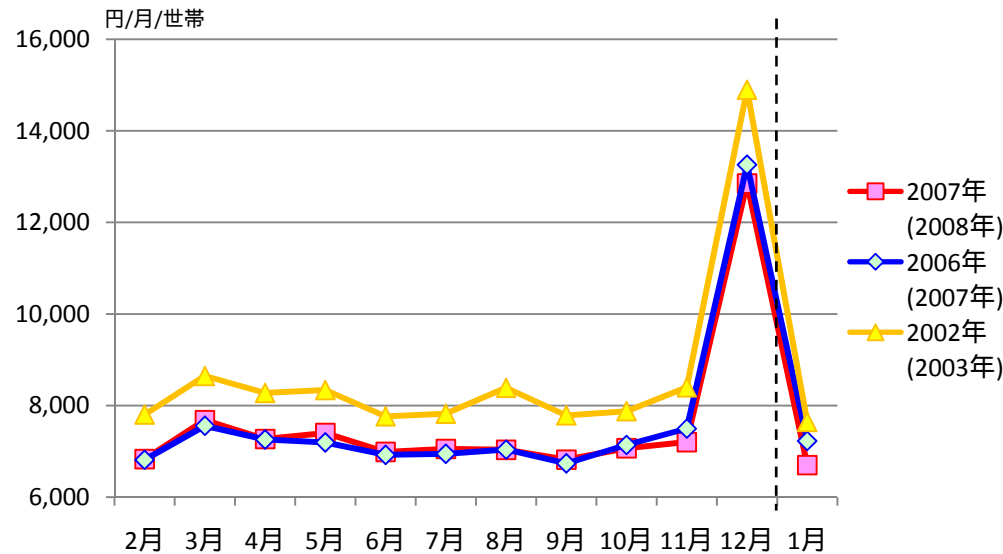
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

2)「まぐろ・かじき類」は、輸出については輸出入情報の「まぐろ類」と、財務省貿易統計の「かじき」を合算して算出し、輸入については輸出入情報の「まぐろ類」と「かじき」を合算して算出。

5 魚介類の家計消費の動向

2008年1月の魚介類1世帯1月あたり支出金額は前年同月と比べ7.3%減少。
2007年同月と比べ、いわし、かつお、さば等、多くの品目で支出額の減少が目立つ。支出が増加したのは、さけ、たい、あさり、かき、塩さけ等。

魚介類1世帯1月あたり支出金額の推移(単月ベース)



		H19計	H20.1
魚介類支出金額	金額(円/月/世帯)	91,421	6,700
	前年同月比	-0.1%	-7.3%
	2003同月比	-12.3%	-12.3%

資料:総務省「家計調査報告」

- 注: 1) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
2) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。
3) 毎月初旬に、2ヶ月前の統計が公表される。
4) については、2002年同月比との比較である。

(参考) 品目別の一世帯あたり支出金額

品目	単月の支出金額(円/月/世帯)			品目	単月の支出金額(円/月/世帯)		
	平成19年 1月	平成20年 1月	対前年 同月比		平成19年 1月	平成20年 1月	対前年 同月比
鮮魚	4,109	3,632	-11.6%	ほたて貝	108	105	-2.8%
まぐろ	512	472	-7.8%	他の貝	34	39	14.7%
あじ	105	104	-1.0%	塩干魚介	1,248	1,201	-3.8%
いわし	59	36	-39.0%	塩さけ	147	159	8.2%
かつお	78	52	-33.3%	たらこ	233	216	-7.3%
かれい	150	137	-8.7%	しらす干し	115	105	-8.7%
さけ	257	270	5.1%	干しあじ	100	96	-4.0%
さば	131	105	-19.8%	干しいわし	44	42	-4.5%
さんま	45	40	-11.1%	煮干し	40	34	-15.0%
たい	86	94	9.3%	他の塩干魚介	570	550	-3.5%
ぶり	378	351	-7.1%	魚肉練製品	712	704	-1.1%
いか	202	180	-10.9%	揚げかまぼこ	221	230	4.1%
たこ	99	88	-11.1%	ちくわ	130	136	4.6%
えび	268	233	-13.1%	かまぼこ	224	200	-10.7%
かに	289	227	-21.5%	他の魚肉練製品	137	138	0.7%
他の鮮魚	852	751	-11.9%	他の魚介加工品	775	714	-7.9%
さしみ盛合わせ	598	492	-17.7%	かつお節・削り節	80	73	-8.8%
貝類	382	449	17.5%	魚介の漬物	238	204	-14.3%
あさり	53	57	7.5%	魚介のつくだ煮	92	76	-17.4%
しじみ	43	37	-14.0%	魚介の缶詰	168	170	1.2%
かき	143	212	48.3%	他の魚介加工品の その他	198	191	-3.5%

資料:総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における2007年合計値は速報値である。

次回(2008年2月版)の発行は、2008年4月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 森田

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344